

4

財務情報

株主・投資家の皆さまに向けて、財務戦略や経営成績、財務状態、株式の状況などについてご説明します。

- 財務戦略 53
- 経営成績等の概況 54
- 財務ハイライト 56
- 連結財務諸表 58
- 株式情報 62
- 主要な連結経営指標等の推移 64
- 会社概要 66

財務戦略

新たな中期計画による当社グループの財務戦略、配当政策、株主還元方針、及び経営成績等の概況について以下で紹介いたします。

財務戦略

当社グループは、事業運営上必要な流動性と資金の源泉を安定的に確保することを財務戦略上の基本方針としております。短期運転資金は基本的に自己資金より充当し、設備投資資金や長期運転資金については、事業計画に基づく資金需要、金利動向等の調達環境を勘案の上、金融機関からの長期借入や社債発行及び株式発行により

適宜調達を行っております。

新たに策定した2023年3月期より始まる3カ年の中期計画においては、原則として自己資本比率50%以上を維持すること、ROE(自己資本利益率)は中長期的に10%以上を目指すことを財務基本方針として掲げ、資金配分については下記の優先順位で行うものとしております。

資金配分

	各項目と優先順位	詳細
1.投資	主要事業の成長に資する戦略案件やM&Aによる投資	当社戦略に適合かつ社内ハードルを越え、リターンに資する案件に資本を投下し、企業価値の向上を目指す
2.配当	安定的な配当の継続的な実施	年間1株当たり30円をベースとし、連結業績に応じて配当性向30%以上を目標とする

配当政策／株主還元方針

当社は、株主をはじめとするステークホルダーに対する利益配分を継続的に実施することが重要であると認識しており、その前提として持続的な企業経営を行うことが必要であると考えております。そのためには、企業体質の強化、将来の事業展開に備えた内部留保の充実が必要条件であると考えております。

定期的な配当額として1株当たり年間30円をベースとし、連結業績に応じた利益還元分を含めた配当性向30%以上を目標に、株主還元を実施することを基本方針としております。

その上で、株主の皆さまへの利益還元を重要な経営課題と認識しており、具体的には、2023年3月期以降は安

また、当社は、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的とし、2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

株主・投資家との対話

当社は、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまに対して、公平かつ適時・適切な情報開示を継続的に行うことで、経営の透明性と社会からの信頼向上に努めることを基本方針としております。情報開示内容については、ステークホルダーの皆さまからのご期待、ご意見に積極的に耳を傾け、必要性を検討の上継続的に改善を施しております。国内外機関投資家・アナリストの皆さまとの対話につきましては、複数の関連部門との緊密な連携のもと、IR部が中心となり積極的に実施しており

ます。上記方針のもと、2021年度は年間で延べ506社の機関投資家・アナリストの皆さまとの面談を実施しました。ステークホルダーの皆さまとの対話を通じて得られたご意見は、取締役会にも共有し、必要に応じて企業活動に反映しております。

今後も当社は、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまとの責任ある対話に取り組み、持続的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

経営成績等の概況

2022年3月期の経営成績の概況

当社グループは、中長期的な成長及び企業価値の向上を図るべく、書籍、実写映像、アニメ、ゲーム、及びUGC (User Generated Content) プラットフォーム等を通じて多彩なポートフォリオから成るIP (Intellectual Property) を安定的に創出し、それらを世界に広く展開することを中核とする「グローバル・メディアミックス」の推進を基本戦略としております。

当連結会計年度における業績は、売上高2,212億8百万円 (前年同期比5.4%増)、営業利益185億19百万円 (前

年同期比35.9%増)、経常利益202億13百万円 (前年同期比40.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益140億78百万円 (前年同期比46.9%増) となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日) 等を当連結会計年度の期首から適用しており、従来の方法に比べて、当連結会計年度の売上高は104億56百万円減少しております。なお、営業利益、経常利益、税金等調整前当期純利益に与える影響は軽微です。

2022年3月期の財政状況の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べて556億70百万円増加し、3,253億19百万円となりました。これは主に第三者割当増資等により現金及び預金が増加したことや、保有株式の株価上昇により投資有価証券が増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて94億54百万円増加し、1,495億78百万円となりました。これは主に預り金、支

払手形及び買掛金等が増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて462億16百万円増加し、1,757億40百万円となりました。これは主に配当金の支払いがあった一方で、親会社株主に帰属する当期純利益の計上及び第三者割当増資等により株主資本が増加し、保有株式の株価上昇によりその他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

設備投資の状況

当連結会計年度において実施した、当社グループの設備投資の総額は52億72百万円であり、その事業別の主な内容は次のとおりです。

事業別設備投資の内容

事業区分	金額 (百万円)	主な内容
出版事業	3,637	書籍の製造・物流拠点の建設及び自社電子書籍サイトの機能拡張等
映像事業	349	ムビチケ機能拡張のシステム開発等
ゲーム事業	105	ゲームアプリ開発費用、開発用機材の購入等
Webサービス事業	0	システム開発等
その他事業	1,068	教育事業のスクール運営設備及び社内ネットワーク設備の構築等
全社 (共通)	110	角川本社ビル隣接地の取得等
合計	5,272	

(注) 設備投資の金額には、有形固定資産のほか無形固定資産のうちソフトウェア及びソフトウェア仮定を含んでおります。

当連結会計年度において継続中の主要設備の新設 (2022年3月31日現在)

前連結会計年度末において計画中であったところざわサクラタウン (埼玉県所沢市) の書籍製造・物流工場のうち、製造工場については当連結会計年度に一部稼働開始し、物流工場については稼働に向けた準備を進めており

ます。製造・物流工場の投資予定総額191億円に対する、製造設備及び建物等取得にかかる建設施工費等、既支払額は159億58百万円です。

2022年3月期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益の計上等により、217億8百万円の収入 (前年同期は155億86百万円の収入) となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産及び無形固定資産の取得や定期預金の預け入れ等により、79億40百万円の支出 (前年同期は59億31百万円の支出) となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い (1株当たり20円増配) があった一方、株式の発行による収入298億67百万円等により、266億90百万円の収入 (前年同期は79億33百万円の収入) となりました。

以上の結果、為替換算差額も含めて416億91百万円の収入となり、現金及び現金同等物の当連結会計年度末残高は、975億79百万円となりました。

当社グループの短期運転資金は基本的に自己資金より充当し、設備投資資金や長期運転資金については、事業計画に基づく資金需要、金利動向等の調達環境を勘案の上、金融機関からの長期借入や社債発行及び株式発行により適宜調達を行っております。

また、複数の金融機関と総額150億円のコミットメントライン契約を締結し、流動性を補完しております。なお、当連結会計年度末の借入実行残高はありません。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
自己資本比率	44.7%	42.2%	43.3%	47.2%	52.8%
時価ベースの自己資本比率	30.0%	30.7%	34.5%	102.7%	137.8%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	40.7年	11.2年	4.0年	4.2年	3.0年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	16.2倍	59.0倍	167.4倍	161.6倍	211.5倍

(注)

1. 各指標の算出は、以下の算式を使用しております。

自己資本比率：自己資本 ÷ 総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額 ÷ 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債 ÷ 営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー ÷ 支払い

2. 上記各指標は、連結ベースの財務数値により計算しております。

3. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

5. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。また、利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

今後の見通し

当社グループを取り巻く事業環境は、国内出版市場においては電子出版を中心に市場全体が継続的に拡大する一方で、海外でも映像配信普及によるアニメ視聴者増をきっかけとしたコミック市場の拡大が見られ、出版ビジネスが国際化しております。

映画館やイベントについては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受けた前年に比べて徐々に回復傾向にあり、映像配信、オンラインゲーム及びオンラインライブが一般化したことで、コンテンツ需要が世界的に高まるとともにコンテンツを中心に他者とつながる楽しみ方も広がってきております。

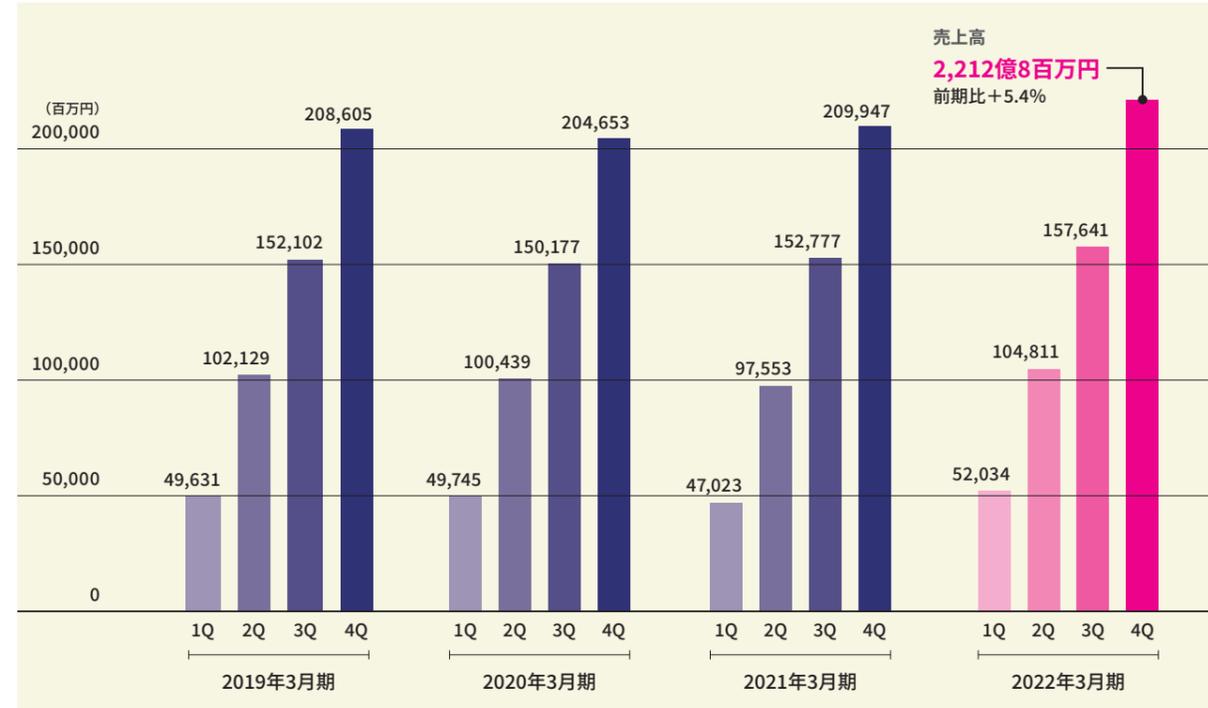
こうした事業環境をとらえ、当社はテクノロジーの進化を柔軟に取り込み、事業のデジタルシフトをさらに進めながら、IP創出と海外展開を強化してグローバル・メディアミックスを推進するとともに、ファンコミュニティ運営を強化することで、IP価値の最大化と継続的な業績拡大に努めてまいります。

加えて、当社は新たな経営体制の下、クリエイティビティ、テクノロジー、モチベーションをテーマに従業員一人ひとりが好きなことに全力で向き合いながら、創造性を最大限発揮できる社内基盤を整備し、イノベーション創出に挑戦してまいります。

財務ハイライト

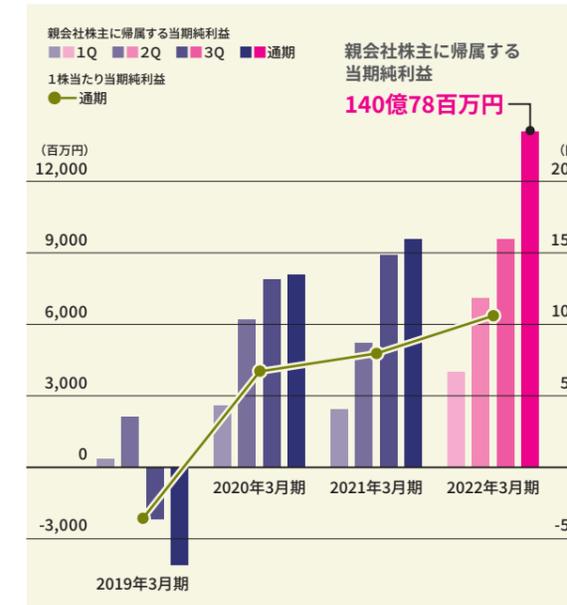
第2四半期(2Q)は、第1四半期から第2四半期までの累計情報です。
第3四半期(3Q)は、第1四半期から第3四半期までの累計情報です。

売上高



親会社株主に帰属する当期純利益 一株当たり当期純利益

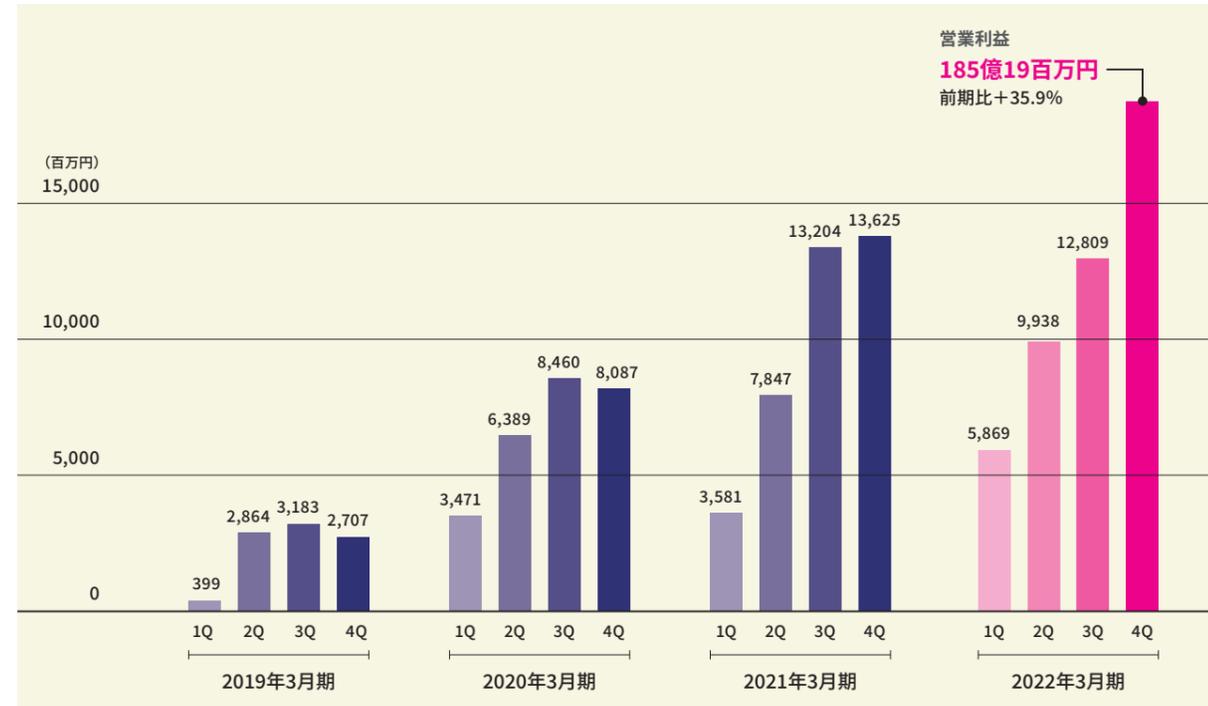
当社は、2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益または1株当たり当期純損失を算定しております。



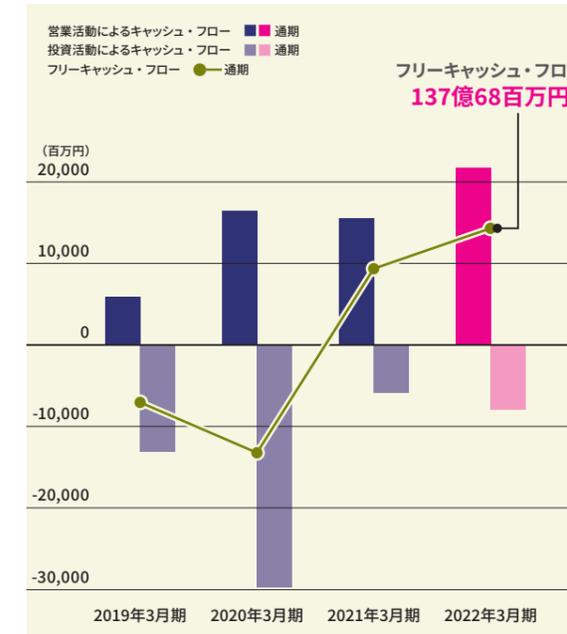
自己資本当期純利益率 (ROE)



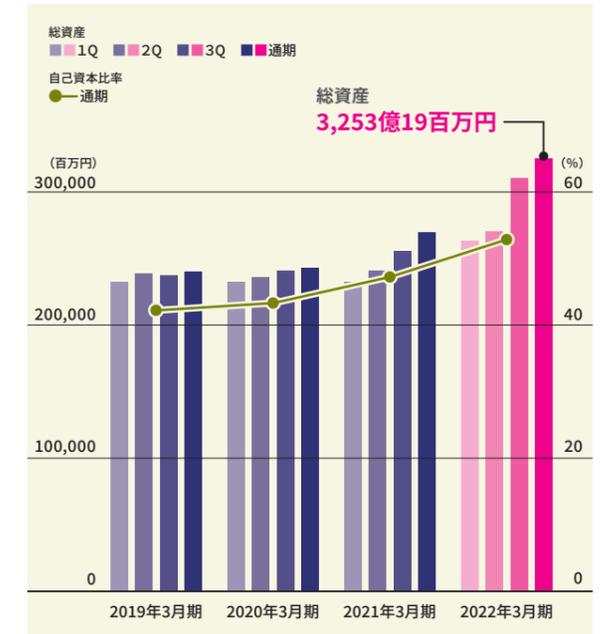
営業利益



キャッシュ・フロー



総資産・自己資本比率



連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
	2021年3月31日	2022年3月31日
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	79,042	123,931
受取手形及び売掛金	42,648	—
受取手形	—	2,119
売掛金	—	41,063
契約資産	—	401
棚卸資産	20,757	23,921
前払費用	1,385	1,853
預け金	4,129	4,491
その他	6,739	8,220
貸倒引当金	△799	△388
流動資産合計	153,904	205,613
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,213	40,478
減価償却累計額	△7,358	△9,423
建物及び構築物(純額)	29,854	31,055
機械及び装置	2,728	2,897
減価償却累計額	△1,844	△1,709
機械及び装置(純額)	884	1,188
工具、器具及び備品	9,689	9,317
減価償却累計額	△7,088	△6,448
工具、器具及び備品(純額)	2,600	2,868
土地	26,011	26,088
建設仮勘定	12,571	9,880
その他	755	914
減価償却累計額	△515	△459
その他(純額)	240	455
有形固定資産合計	72,161	71,538
無形固定資産		
ソフトウェア	5,161	5,489
のれん	362	429
その他	1,447	1,362
無形固定資産合計	6,971	7,280
投資その他の資産		
投資有価証券	29,671	33,957
退職給付に係る資産	47	63
繰延税金資産	1,204	1,011
保険積立金	2,139	2,464
差入保証金	3,016	2,968
その他	822	703
貸倒引当金	△290	△283
投資その他の資産合計	36,610	40,886
固定資産合計	115,744	119,705
資産合計	269,648	325,319

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
	2021年3月31日	2022年3月31日
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,266	26,635
短期借入金	459	283
1年内返済予定の長期借入金	10,000	—
未払金	9,676	10,294
未払法人税等	3,173	2,366
前受金	11,362	—
契約負債	—	12,890
預り金	3,832	7,171
賞与引当金	4,154	4,810
ポイント引当金	268	—
返品引当金	6,490	—
返金負債	—	5,730
株式給付引当金	312	485
役員株式給付引当金	522	313
その他	3,826	6,904
流動負債合計	79,347	77,885
固定負債		
長期借入金	55,000	65,000
繰延税金負債	615	1,149
退職給付に係る負債	3,686	3,855
その他	1,474	1,688
固定負債合計	60,776	71,693
負債合計	140,123	149,578
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,624	40,624
資本剰余金	44,821	53,324
利益剰余金	56,215	67,015
自己株式	△8,943	△1,928
株主資本合計	117,719	159,036
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,751	11,138
為替換算調整勘定	445	1,396
退職給付に係る調整累計額	425	328
その他の包括利益累計額合計	9,622	12,863
非支配株主持分	2,182	3,840
純資産合計	129,524	175,740
負債純資産合計	269,648	325,319

(2)連結損益計算書及び連結包括利益計算書

(単位:百万円)

(連結損益計算書)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	自 2020年4月1日 至 2021年3月31日	自 2021年4月1日 至 2022年3月31日	自 2020年4月1日 至 2021年3月31日	自 2021年4月1日 至 2022年3月31日
売上高	209,947	221,208		
売上原価	136,256	145,621		
売上総利益	73,690	75,587		
販売費及び一般管理費	60,065	57,067		
営業利益	13,625	18,519		
営業外収益				
受取利息	154	89		
受取配当金	443	423		
持分法による投資利益	—	463		
為替差益	19	1,339		
物品売却益	60	75		
その他	319	604		
営業外収益合計	997	2,994		
営業外費用				
支払利息	103	100		
持分法による投資損失	86	—		
株式交付費	44	131		
寄付金	—	1,000		
その他	19	67		
営業外費用合計	252	1,300		
経常利益	14,369	20,213		
特別利益				
持分変動利益	14	—		
固定資産売却益	184	57		
投資有価証券売却益	11	29		
関係会社株式売却益	—	100		
関係会社出資金売却益	695	—		
その他	—	2		
特別利益合計	905	190		
特別損失				
減損損失	30	71		
固定資産除却損	186	—		
投資有価証券評価損	233	142		
事業構造改善費用	544	705		
その他	24	26		
特別損失合計	1,018	945		
税金等調整前当期純利益	14,256	19,458		
法人税、住民税及び事業税	4,859	4,651		
法人税等調整額	△113	△254		
法人税等合計	4,745	4,396		
当期純利益	9,511	15,061		
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△73	983		
親会社株主に帰属する当期純利益	9,584	14,078		

(単位:百万円)

(連結包括利益計算書)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	自 2020年4月1日 至 2021年3月31日	自 2021年4月1日 至 2022年3月31日	自 2020年4月1日 至 2021年3月31日	自 2021年4月1日 至 2022年3月31日
当期純利益	9,511	15,061		
その他の包括利益				
その他有価証券評価差額金	4,737	2,386		
為替換算調整勘定	△286	1,082		
退職給付に係る調整額	△256	△96		
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	62		
その他の包括利益合計	4,191	3,435		
包括利益	13,702	18,497		
(内訳) 親会社株主に係る包括利益	13,803	17,319		
非支配株主に係る包括利益	△101	1,178		

(3)連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	自 2020年4月1日 至 2021年3月31日	自 2021年4月1日 至 2022年3月31日	自 2020年4月1日 至 2021年3月31日	自 2021年4月1日 至 2022年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前当期純利益	14,256	19,458		
減価償却費	4,461	5,723		
のれん償却額	68	379		
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	391	14		
返品引当金の増減額(△は減少)	△114	—		
返金負債の増減額(△は減少)	—	△822		
賞与引当金の増減額(△は減少)	927	655		
受取利息及び受取配当金	△597	△512		
持分法による投資損益(△は益)	86	△463		
関係会社出資金売却損益(△は益)	△695	—		
売上債権の増減額(△は増加)	△3,522	—		
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	—	△569		
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,818	△2,785		
仕入債務の増減額(△は減少)	707	1,161		
前受金の増減額(△は減少)	1,793	—		
契約負債の増減額(△は減少)	—	1,169		
その他	2,747	3,122		
小計	18,691	26,532		
利息及び配当金の受取額	838	766		
利息の支払額	△96	△102		
法人税等の支払額	△3,847	△5,488		
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,586	21,708		
投資活動によるキャッシュ・フロー				
定期預金の純増減額(△は増加)	13,893	△1,585		
有形固定資産の取得による支出	△17,030	△2,211		
無形固定資産の取得による支出	△3,259	△3,043		
投資有価証券の取得による支出	△885	△743		
投資有価証券の売却による収入	150	149		
関係会社出資金の売却による収入	691	—		
連結の範囲の変更を伴う子会社持分の取得による支出	—	△184		
その他	509	△322		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,931	△7,940		
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額(△は減少)	△39	△218		
長期借入れによる収入	—	10,000		
長期借入金の返済による支出	—	△10,000		
株式の発行による収入	9,955	29,867		
非支配株主からの払込みによる収入	50	504		
配当金の支払額	△1,888	△3,289		
その他	△144	△173		
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,933	26,690		
現金及び現金同等物に係る換算差額	△98	1,232		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	17,490	41,691		
現金及び現金同等物の期首残高	38,151	55,887		
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	245	—		
現金及び現金同等物の期末残高	55,887	97,579		

株式情報

株式の状況

基本情報 (2022年4月現在)

証券コード	9468
銘柄	株式会社KADOKAWA
株式の売買単位	100
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場

株式事務の概要

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行(株)
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行(株)証券代行部
郵送物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
各種お問い合わせ先	三菱UFJ信託銀行(株)証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)

(注)
1. 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。
口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。
また、下記ホームページでもご案内しておりますのでご利用ください。
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。

3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式の詳細及び大株主の状況 (2022年3月31日現在)

① 発行可能株式総数

520,000,000株

(注)
2021年10月29日開催の取締役会決議により、2022年1月1日付で株式分割に伴う定款の変更が行われ、発行可能株式総数は260,000,000株増加しております。

② 発行済株式の総数

141,784,120株
(自己株式465,808株を含む)

(注)
1. 2021年10月29日開催の取締役会決議により、2021年11月15日付で第三者割当を実施しております。これにより発行済株式総数は4,862,200株増加しております。
2. 2021年10月29日開催の取締役会決議により、2021年11月15日付で自己株式の消却を実施しております。これにより発行済株式総数は4,862,200株減少しております。
3. 2021年10月29日開催の取締役会決議により、2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。これにより発行済株式総数は70,892,060株増加しております。

③ 株主数 31,838名

④ 大株主(上位11名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	16,925	11.98
KSD-NH(常任代理人シティバンク、エヌ・エイ東京支店セキュリティーズ業務部)	12,587	8.91
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL(常任代理人ゴールドマン・サックス証券(株))	10,303	7.29
(株)日本カストディ銀行(信託口)	8,300	5.87
川上量生	8,193	5.80
日本電信電話(株)	4,080	2.89
日本生命保険相互会社(常任代理人日本マスタートラスト信託銀行(株))	3,428	2.43
(株)バンダイナムコホールディングス	3,060	2.17
角川歴彦	2,920	2.07
(株)サイバーエージェント	2,844	2.01
ソニーグループ(株)	2,844	2.01

(注)
1. 当社は、自己株式465千株を保有しておりますが、自己株式465千株には、当社と連結子会社の役員向け株式報酬制度及び従業員向けESOP制度の信託財産として三井住友信託銀行(株)(信託E口)が所有している当社株式69千株、並びに(株)日本カストディ銀行(信託口)が所有している当社株式1,996千株を含んでおりません。
2. 持ち株数は自己株式を控除して計算しております。

株価の推移



(注)
当社の株価終値の、2014年10月1日から2022年6月1日までの推移。

株主還元の拡充 — 配当の充実

株主還元の基本方針

基本方針

持続的な企業経営の前提となる企業体質の強化、不測の事態や将来の事業展開の備えとして内部留保を充実させた上で、株主の皆さまに継続的・安定的な利益分配を実施



2023年3月期以降の追加方針

安定的な1株当たり配当額として年間30円をベースとし、連結業績に応じた利益還元分を含めた配当性向30%以上を目標に株主還元を実施

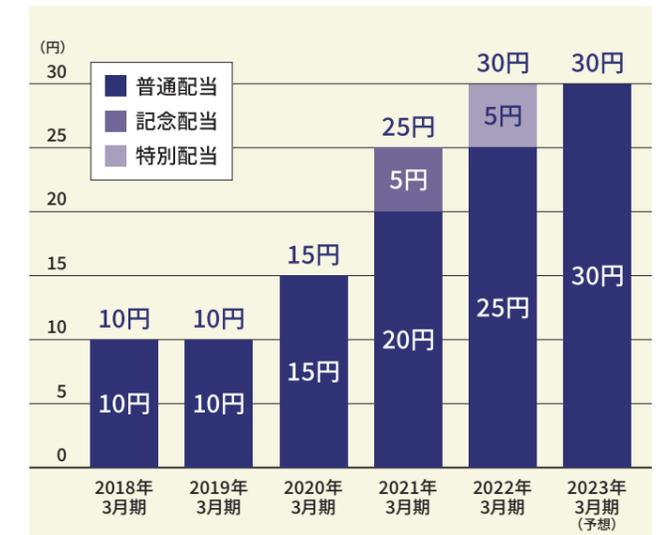
配当額

【2022年3月期配当】

普通配当 25円に好調な通期連結業績を反映した特別配当5円を加え、30円に増配

【2023年3月期配当】

上記追加方針に基づき、普通配当30円を予想



(注)
当社は、2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期以前の配当については、当該株式分割を考慮した数値を記載しております。

株主優待制度

株主優待制度の詳細につきましては、下記Webサイトでご案内しております。

<https://group.kadokawa.co.jp/ir/stock.html>

主要な連結経営指標等の推移

(注)

- 第1期は、設立日である2014年10月1日から2015年3月31日までの6カ月間です。
- 第2期以降の純資産には株式取得管理給付信託が所有する当社株式が自己株式として計上されております。当該株式は、同期間の1株当たり当期純利益または1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。また、1株当たり純資産の算定上、当該株式を期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。
- 当社は、2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。第1期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産、1株当たり当期純利益または1株当たり当期純損失、及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。
- 第2期から第7期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が

- 存在しないために記載しておりません。
- 第5期の自己資本利益率及び株価収益率については、親会社株主に帰属する当期純損失であるために記載しておりません。
- 『税効果会計に係る会計基準』の一部改正（企業会計基準第28号 2018年2月16日）を第5期の期首から適用しており、第4期に係る主要な経営指標等については、当該会計基準を遡って適用した後の指標等となっております。
- 『収益認識に関する会計基準』(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第8期の期首から適用しております。
- 従業員数は就業人員であり、グループ外への出向者(兼務出向を含む)を除き、受入出向者、執行役員を含んでおります。従業員数欄の(外書)は、臨時雇用者数(有期契約社員、派遣社員)の年間平均人数です。

回次 決算年月	第1期 2015年3月	第2期 2016年3月	第3期 2017年3月	第4期 2018年3月	第5期 2019年3月	第6期 2020年3月	第7期 2021年3月	第8期 2022年3月
売上高(百万円)	100,566	200,945	205,717	206,785	208,605	204,653	209,947	221,208
経常利益(百万円)	2,472	10,189	7,407	3,716	4,205	8,787	14,369	20,213
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△)(百万円)	14,055	6,845	5,767	1,038	△4,085	8,098	9,584	14,078
包括利益(百万円)	15,205	6,704	7,560	1,316	△1,604	7,878	13,702	18,497
純資産(百万円)	104,248	104,526	111,724	109,128	103,411	107,375	129,524	175,740
総資産(百万円)	205,673	201,609	246,949	239,881	240,072	242,995	269,648	325,319
1株当たり純資産(円)	728.91	764.72	810.05	814.69	801.04	855.77	987.83	1,234.46
1株当たり当期純利益 又は1株当たり当期純損失(△)(円)	100.01	49.56	42.52	7.76	△31.97	65.06	77.42	105.96
潜在株式調整後1株当たり当期純利益 (円)	99.60	—	—	—	—	—	—	105.96
自己資本比率(%)	50.2	51.4	44.5	44.7	42.2	43.3	47.2	52.8
自己資本利益率(%)	22.5	6.6	5.4	1.0	—	7.8	8.2	9.4
株価収益率(倍)	9.42	17.50	18.77	71.43	—	10.47	27.74	30.39
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	7,765	6,733	11,968	1,608	5,864	16,516	15,586	21,708
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△9,049	△4,673	△10,394	△18,765	△13,058	△29,908	△5,931	△7,940
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	24,385	△8,775	37,200	△6,421	△4,236	△4,359	7,933	26,690
現金及び現金同等物の期末残高(百万円)	59,201	52,175	91,140	67,407	56,123	38,151	55,887	97,579
従業員数(人) [外、平均臨時雇用者数]	3,857 [1,834]	3,984 [1,915]	4,179 [2,012]	4,330 [2,046]	4,546 [2,141]	4,492 [2,097]	4,910 [2,162]	5,349 [2,229]

会社概要 (2022年3月31日現在)

商号	株式会社KADOKAWA
所在地	〒102-8177 東京都千代田区富士見二丁目13番3号
Webサイト	https://group.kadokawa.co.jp/
設立年月日	2014年10月1日
資本金	406億円
従業員数	2,259名(単体) 6,645名(連結)

©理不尽な孫の手/MFブックス/「無職転生」製作委員会 ©2022『真夜中乙女戦争』製作委員会 ©2021『妖怪大戦争』ガーディアンズ
 ©ざっぼん・やすも/KADOKAWA/真の仲間製作委員会 ©2020竜騎士07/ひぐらしのなく頃に製作委員会 ©Tone Koken,hiro/ペアモーターズ ©Keiko Shibata 2021
 Dying Light 2 ©Techland S.A. Published and developed by Techland S.A. All other trademarks, copyrights and logos are property of their respective owners. All rights reserved.
 ©ニコニコネット超会議 2021 ©Animelo Summer Live 2021 ©2021『ヤクザと家族 The Family』製作委員会 ©Yuu Kamiya 2021
 ©十日草輔・KADOKAWA刊/アニメ「王様ランキング」製作委員会 ©2021『ファーストラヴ』製作委員会 ©角川武蔵野ミュージアム
 ©2021 月夜涙・れい亜/KADOKAWA/暗殺貴族製作委員会 ©EDIT ©2019 アネコユサギ/KADOKAWA/盾の勇者の製作委員会
 ©Bandai Namco Entertainment Inc./©2022 FromSoftware, Inc. ©2021 橋由華・珠梨やすゆき/KADOKAWA/「聖女の魔力は万能です」製作委員会 ©Mine Yoshizaki
 ©創通・サンライズ ©KADOKAWA1953 ©KADOKAWA1976 ©KADOKAWA 1977 ©1985 KADOKAWA/STUDIO CANAL
 ©KADOKAWA 日本テレビ 博報堂DYメディアパートナーズ/1995 ©1997「失楽園」製作委員会 ©1998「リング」「らせん」製作委員会
 ©大野木寛©2001 BONES・出淵裕/Rahxephon project ©KIYOHICO AZUMA/YOTUBA SUTAZIO ©Nagaru Tanigawa, Noizi Ito 2003 ©2009「沈まぬ太陽」製作委員会
 ©MOVIE WALKER Co., Ltd. All Rights Reserved. ©2020「Fukushima 50」製作委員会
 ©2019,2022 FromSoftware, Inc. All rights reserved. ACTIVISION is a trademark of Activision Publishing Inc. All other trademarks and trade names are the properties of their respective owners.
 ©Animelo Summer Live 2005 ©Keiko Shibata 2020 ©長月達平・株式会社 KADOKAWA刊/Re:ゼロから始める異世界生活 1製作委員会
 ©長月達平・株式会社 KADOKAWA刊/Re:ゼロから始める異世界生活 2製作委員会 Licensed to and Published by Spike Chunsoft Co., Ltd.
 ©長月達平・株式会社 KADOKAWA刊/Re:ゼロから始める異世界生活製作委員会 ©2022「すずめの戸締まり」製作委員会 ©AbemaTV, Inc. ©M.LEAGUE
 ©KADOKAWA CORPORATION 2022 ©EJ Anime Music Festival 2021 ©D.LEAGUE 21-22
 ©長月達平・株式会社 KADOKAWA刊/Re:ゼロから始める異世界生活 2製作委員会 ©Goodbye,DonGlees Partners ©2021「鹿の王」製作委員会
 ©泉朝樹・KADOKAWA刊/見える子ちゃん製作委員会 ©ニコニコ超会議 2022 ©衣笠彰梧・KADOKAWA刊/ようこそ実力至上主義の教室へ 2製作委員会
 ©丸山くがね・KADOKAWA刊/オーバーロード4製作委員会 ©長月達平 イラスト：大塚真一郎 Photo: Tomooki Kengaku ©MOTOSHIGE SAKURABA
 ©衣笠彰梧・KADOKAWA刊/ようこそ実力至上主義の教室へ製作委員会 ©2020 杉谷庄吾【人間プラモ】/KADOKAWA/映画大好きポンポさん製作委員会
 ©2017 New Classics Media,Kadokawa Corporation,Emperor Motion Pictures,Shengkai Film ©朝霧カフカ・春河35/KADOKAWA
 写真提供：N高等学校・S高等学校
 ©KADOKAWA CORPORATION 2022

